



父さんの汚れた作業着
どんなヒーローよりも カッコいい、
今でもね

2010年 だから、ことば!!大募集2010 入賞



この島で、生きろいこく。

甘平を収穫する門野さん (平成31年1月)

中島で代々続く農家の11代目 門野誠司さん。平成30年7月豪雨では、門野さんが住む中島も豪雨に見舞われました。ミカン畑のほか、かんきつを運ぶモノラックなども甚大な被害を受けました。

「畑が被害に遭いましたが、市からのボランティアなどが、土砂の撤去を手伝ってくれたおかげで、畑の一部とモノラックを復旧できました。その後の天候がよく、期待に応えられるような甘さの甘平を収穫することができました」と話す門野さん。

農作業に精を出す門野さんの背中には、常に前を見続ける大切さを物語っているようです。

主な内容

- 特集 平成30年7月豪雨から1年 災害に備えよう 8・9面
- 私たちのふるさと松山学 4面
- 三津浜花火大会・北条花火大会 5面
- 市民ガイド 12～15面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日発刊
☎948-6705 ☎934-2578
🌐https://www.city.matsuyama.ehime.jp/

かんきつ農家 門野 誠司さん (忽那諸島・中島)

甘平、せとか、カラマンダリンなどのかんきつを育てています。専業農家になって5年目ですが、それ以前も農業関係の仕事をしており、ずっと農業に関わってきました。

現在、私と妻、私の両親で、日ごろの農作業のほか、収穫、選果、出荷までを行っています。

昨年の豪雨で被害を受け、しんどい時期もありましたが、生まれ育ったこの島で、これからも農業を続けていきます。

今年3月、東京大学、愛媛大学、松山市で防災止、応急復旧に努めてきました。復旧には時間を要するものもあります。これからも被災された方々に寄り添った息の長い支援に全力で対応していきます。

松山市長 野 心 克 仁
全国初の取り組みを開始しました。引き続き、災害から大切な市民の皆さんの命を守るため、防災・減災対策をしっかりと進めていきます。

7月豪雨災害から1年

昨年7月の豪雨災害から1年。復旧・復興にご協力やご支援いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

本市では、これまでに約83億2千万円の関連予算を組み、被災された方々への支援や二次災害の防止、連携協定を結び、5月には関連団体も加わり防災教育推進協議会を設立し、オール松山体制で、小学生から高齢者まで全ての世代に防災教育を広げる



保存してください。いつかまた お役に立ちます